

予算決算委員会建設分科会記録

1 日 時 令和元年9月19日（木曜日）

開 会	午前10時00分
休 憩	午前10時04分
再 開	午前10時23分
休 憩	午前10時35分
再 開	午前10時58分
休 憩	午前11時30分
再 開	午前11時55分
閉 会	午後 0時18分

2 場 所 第4委員会室

3 出席委員 9人

分科会長	押 田 大 祐
分科会副会長	尾 上 一 彦
委 員	岡 部 享
//	竹 田 勝
//	小 西 直 樹
//	堀 江 かず代

委 員	村 上 和 久
//	村 家 博
//	五 本 幸 正

4 欠席委員 0人

5 説明のため出席した者

【消防局】

局長	戸川 治朗
局次長	相澤 充則
総務課長	河部 勝巳
予防課長	藤井 勉
警防課長	原野 理
通信指令課長	石井 誠
総務課主幹（総務企画・調整担当）	井原 毅

【上下水道局】

局長	黒田 和幸
局次長	伊東 繁
局次長（技術担当）	山崎 耕一
経営企画課長	石金 俊介
契約出納課長	井上 剛秀
料金課長	横井 浩伸
給排水サービス課長	五十嵐 進
水道課長	山崎 明彦
下水道課長	高尾 輝彦
上下水道施設管理センター所長	田辺 茂樹
東上下水道サービスセンター所長	五十嵐 健治
西上下水道サービスセンター所長	深川 俊二
流杉浄水場長	福澤 幸二
浜黒崎浄化センター場長	中橋 亨
経営企画課主幹（調整担当）	高波 宏明

【活力都市創造部】

部長	前田 一士
理事（活力都市創造担当）	後藤 衛
部次長	大沢 一貴
部次長（技術担当）	中村 雅也
参事（建築指導担当）	栗島 正憲
参事（都市計画課長）	狩野 雅人
活力都市推進課長	金山 英樹
交通政策課長	村井 真哉
建築指導課長	佐藤 英子
富山駅周辺地区整備課長	山崎 哲志
路面電車推進課長	高田 秀昭
中心市街地活性化推進課長	小善 誠
都市再生整備課長	守山 裕一
活力都市推進課主幹（調整担当）	桜井 光王
居住対策課主幹	高木 勝人

【建設部】

部長	中田 信夫
建設技術統括監	植野 芳彦
部次長	舟田 安浩
部次長（技術担当）	山元 政彦
土木事務所長	高松 信太郎
参事（営繕担当）	永川 武
参事（建設政策課長）	笹岡 覚
参事（河川課長）	酒井 正道
参事（橋りょう保全対策課長）	深山 隆
参事（土木事務所建設課長）	渡辺 政司
道路整備課長	奥田 孝治
道路管理課長	増山 和弘
公園緑地課長	村田 友康
防災対策課長	高柳 誠
市営住宅課長	片山 建
営繕課長	生田 朋道
土木事務所管理課長	野上 一成
建設政策課主幹（調整担当）	竹内 宗健

6 職務のために出席した者

【議会事務局】

議事調査課調査係長	牧野 仁美
議事調査課主任	牧石 真理
議事調査課主任	平瀬 航

7 会議の概要

分科会長 ただいまから、令和元年9月定例会の予算決算委員会建設分科会を開会いたします。
五本委員から少々遅れるとの連絡がありましたので、御報告いたします。

〔報道機関のテレビカメラ撮影を許可〕

分科会長 審査に先立ち、分科会記録の署名委員に、岡部委員、竹田委員を指名いたします。
当分科会に送付されました各案件の審査については、各部局単位とし、お手元に配付してあります分科会審査順序のとおり行う予定であります。
なお、委員及び当局の皆さんに申し上げますが、質疑・答弁及び説明については、簡潔・明瞭に行っていただきますようお願い申し上げます。
これより、消防局所管分に入ります。
報告案件として提出されている
報告第38号 平成30年度富山市一般会計
継続費精算報告書、第9款消防費
を議題といたします。
これより、当局の説明を求めます。

消防局長 〔挨拶〕

総務課長 〔議案書により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 ないようですので、これをもって、質疑を終
結いたします。
なお、ただいまの報告案件につきましては、
議決不要のものです。
以上で、建設分科会消防局所管分を終了いた
します。

午前10時04分 休憩

~~~~~

午前10時23分 再開

分科会長           これより、建設分科会上下水道局所管分の議  
案の審査を行います。  
議案第125号 令和元年度富山市公共下水  
道事業会計補正予算（第1号）  
を議題といたします。  
これより、当局の説明を求めます。

上下水道局長 〔挨拶及び令和元年9月10日発生の濁水について説明〕

分科会長 今おっしゃった9月10日の濁水の件に関してですけれども、市民に御迷惑をおかけしたこともありますので、まだはっきりわからない部分一弁の故障はどの部分なのかということがわかり次第、書面でも結構ですので、委員の皆様にご説明いただきますようお願いいたします。

上下水道局次長 〔議案説明資料により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 ないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。

これより、議案第125号の意見の表明を行います。

意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。  
以上で、建設分科会上下水道局所管分の議案の審査を終了いたします。  
次に、報告案件として提出されております報告第39号 平成30年度富山市公共下水道事業会計継続費精算報告書を議題といたします。  
これより、当局の説明を求めます。

下水道課長 〔議案書により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。  
なお、ただいまの報告案件につきましては、議決不要のものです。  
以上で、建設分科会上下水道局所管分を終了いたします。

午前10時35分 休憩

~~~~~

午前10時58分 再開

分科会長 これより、建設分科会活力都市創造部所管分の議案の審査を行います。

議案第118号 令和元年度富山市一般会計補正予算（第2号）、第1条歳入歳出予算の補正、歳出第8款土木費中、活力都市創造部所管分

を議題といたします。

これより、当局の説明を求めます。

活力都市創造部長 〔挨拶〕

活力都市創造部次長 〔議案第118号中
活力都市創造部所管分の概要について、
議案説明資料により説明〕

中心市街地
活性化推進課長 〔議案第118号中
おでかけ定期券利用者における外出機会調査
について、
賑わい交流館（旧フォルツァ総曲輪）運営事業
について、
議案説明資料により説明〕

路面電車推進課長 〔議案第118号中
路面電車南北接続に伴う公共交通利用実態調査
について、
議案説明資料により説明〕

富山駅周辺 〔議案第118号中
地区整備課長 富山駅周辺地区土地区画整理事業について、
議案説明資料により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

村上委員 賑わい交流館ですが、休館したときの理由は
何でしたか。

中心市街地 休館を決めた理由ですけれども、フォルツァ
活性化推進課長 総曲輪の入館者数が伸び悩む中にありまして、
近隣にシネマコンプレックスが新たに誕生し
たこと、また、建設から30年以上が経過し、
ビル全体の老朽化が進行しており、今後大規
模な修繕が必要になると考えられたことなど
から、まちづくりとやまと市が協議した上で、
平成28年9月末をもちまして休館といたし
ました。

村上委員 リニューアルするからには、にぎわいを取り
戻してほしいとももちろん思うわけでありませ
けれども、休館以前の旧フォルツァ総曲輪の
地元への貢献度といたしますか、にぎわいの集
客度といたしますか、これをどのように評価し
ておられますか。

中心市街地
活性化推進課長

フォルツァ総曲輪を利用されていた方のホームページのようなものを見ておりましたところ、そちらのほうに、フォルツァ総曲輪を利用された後、総曲輪なり中央通りのお店のほうで飲食などといったことをしておられたということで、二次的効果のようなものが大変高かったのかなというふうに思っております。また、フォルツァ総曲輪の休館に当たりまして、大変残念だという声を多くいただいております。

村上委員

そういう声は当然あろうかというふうに思いますけれども、それが多数でなければならぬわけですよ。一部そういう声があるのは当然であって、そういう声が多数あったことを今おっしゃっていただければよかったなと、客観的に見てそういうものが欲しかったなというふうに思います。

路面電車が南北接続するから来てくれるというものではないと思います。

再開するからには、それを基本にして、新たな集客といたしますか、二次的な効果を期待するというところで、物を新しくすればいいだけではなくて、中身についても、運用についても十分考えてほしいというふうに思うのですが、今の段階で何か構想などはありますか。

今回の再開に当たりましては、本会議でも少し御説明をさせていただいたところですが、まちづくりとやま時代も含めてこの一、二年、運営主体であります富山市民プラザと協議を重ねてきたところでございます。当初、休館するに当たりまして、利用客が低迷しているというようなこともございましたが、一方で、やはりシネマコンプレックスとは一線を画したミニシアターならではの映画も上映しておりまして、そういった映画館の利用者も一定程度いらっしゃったということは認識しておりますし、先ほど言ったように残念だというような声もいただいていたわけでございます。

富山市としても、あくまで休館ということで、いつかのタイミングで再開をしたいというような思いでございました。

今ほど村上委員がおっしゃったように、再開に当たりましては、やはり1つには施設の改修をまずきちんとして、今回、座席シートも全て入れかえをします。開館以来一度も更新されていなかったものもでございますので、所有者である市としては、きちんとやるべきことをまずやろうと。

その上で、運営に当たりましては、市民プラザとの間で、どのような形で再開をするかと

ということについて、まだ正式な結論は出ておりません。

ただ、当面は貸館でありますとか、いろいろなイベントの企画上映のような形で、常設館ではなくて臨時的な上映というものを少し重ねていきながら、その間に民間事業者の方などいろいろな方々の声も聞きながら、本格的な再開に向けての事業をスタートしていきたいというふうに考えているところでございます。

いずれにしても、にぎわい、交流の1つのインパクトになるように、市としても最大限支援をしていきたいというふうに考えているところでございます。

尾上委員

先日の答弁の中にもございましたし、今の答弁の中でも十分意気込みはわかるのですが、今回座席シートの取りかえをされて、132席ほどあったシートが90席ほどに減りますよと。

(「前は176席です」と発言する者あり)

尾上委員

176席でしたか。もっと減るということですよ。座席数が減るというようなことで、今言われたように、176席もあっても、全

て埋まることは今までにもなかったのかもしれませんが、なかなか特別な映画の上映なので、それを目的に来られる方も少ないということもあって、座席数が減ることによる影響というのはあまりないのかもしれませんが、そういったことで収容人数が減る。そういった中で、今回、奥田 瑛二さんや奥田 瑛二さんの娘さんなどとも連携を図りながら実施するということだったのですけれども、そういった方々と連携することによって、そういったことにどのくらい効果があると考えておられるのですか。

活力都市創造部長

このリニューアル、リノベーションをするに当たりまして、実はこの春、本年4月下旬だったと思いますけれども、奥田 瑛二さん、それから高知市から安藤 桃子さんにもお越しいただき、施設の現場も見ていただきまして、改善点とかそういったようなことについて、いろいろな方面からのアドバイスをいただいたものでございます。今回のリノベーションに当たりまして、そうしたアドバイス—非常にありがたい、参考になる点が多々ございましたので、そういったものを生かしながらリノベーションしていくことにいたしました。

それから、今後の運営について奥田 瑛二さんとの関係ということにつきまして、特にはっきりしたものは考えておりませんが、映画の世界でもいろいろと顔のきく方といえますか、幅広い人脈も持っています。それから実際に娘さんも高知市内でミニシアターなどを運営していますので、例えば今後、職員の研修を高知市内でやらせていただくとか、高知市との交流みたいなものも可能性としてはいろいろ広がってくるのではないかと考えております。昔、富山市は都市間交流都市ということで、高知市と職員の交流みたいなものをやっております。高知市とは何かといろいろな御縁もありますので、そういったようなことも生かしながら、いろいろな形で必要に応じてアドバイスなどをいただいて、少しでも着実な運営に努めていくようにしてまいりたいというふうに考えているところでございます。

尾上委員

エンジン01等でせっかく築き上げた奥田 瑛二さんとのきずな、つながりを最大限有効に生かしてもらって、以前の二の舞にならないように運営していただければというふうに考えております。

小西委員 設備のことですけれども、映写機などに支障はないのかということと、あわせて、フィルム映写などはできるのかどうかお答え願います。

中心市街地
活性化推進課長 映写機に関しましては、現在使用できるような状態であります。フィルムに関しましては、4月に奥田 瑛二さん等が来られまして、直していただきました。フィルム上映もできる形になっております。

小西委員 先ほどから御答弁いただいているのですけれども、例えば近くに「JMAX THEATERとやま」とか、中央通りに「ほとり座」などと、映画に関するところがあるのですけれども、それらとの競合や、先ほどから運営方法をちらっとお答えになっているのですけれども、その辺について一競合はすなわち運営や採算性などにかかわってくるというふうに思うのですけれども、その辺についてお答え願います。

活力都市創造部長 決して競合関係にあるというふうには思っておりません。むしろ相乗効果が発揮されて、映画ファンの獲得といったようなお互いにいい面があるというふうに考えております。

答弁でもお話をさせていただきましたが、J M A X T H E A T E R とやまのほうは封切り映画中心ということで、新作映画といったようなものを大作なども含めて上映されています。そういう路線でございますし、今回のフォルツァ総曲輪はミニシアターということで、いわゆるそういったシネマコンプレックスなどでは上映できないような上質なドキュメンタリー作品でありますとか、あるいは富山にゆかりのある、富山を舞台にした作品、そういったようなものが上映できる可能性があるということで、1つの地域文化の発信拠点になるのではないかなというふうに考えているわけでございます。

そういったことも含めて、今回、国に対して地方創成拠点整備交付金の交付もいただいたわけございまして、新たなにぎわい創出だけではなくて、1つの地域文化の発信拠点としても活用していきたいというふうに思っております。

それから、今おっしゃったような、若手事業者の方でみずからミニシアター的なものを行っている方も近くにいらっしゃいますが、こういった方々とも一緒に協力しながら、こういった上映作品をやればいいのかなど、いろいろなお考えやアドバイス、御意見もいただ

きながら、富山での映画文化といったものも一緒に盛り上げていければいいなというふうに考えているところでございます。

竹田委員

私が1つ聞きたいのは、おでかけ定期券利用者における外出機会調査についてです。議案説明資料2ページを読んでいるとなるほどと思うのですが、中身を吟味すると、ちょっとわかりにくいと思うわけです。

これは、外出機会がもたらす人との出会いや交流の頻度などについて調査を実施すると。これを調査して、どういう成果が出れば一どう理解すればいいのでしょうか。どうもこの調査全体の構図がちょっと見えないという気がしております。

中心市街地
活性化推進課長

調査の目的なのですからけれども、まず人が出会うことによる効果ですが、こちらのほうは心の健康やソーシャルキャピタルの醸成など多様な効果をもたらしております、人だけではなく地域コミュニティーやにぎわいづくりなどにおきましても、よい効果を生み出すことにつながるものと考えております。

また、外出することはこうした出会いの機会を増やすだけではなく、外出する市民が増えることによりまして、まちのにぎわいや地域

経済の活性化においても有効であることから、外出と出会いに着目したアンケートの調査を実施するものになります。

竹田委員

調査内容にある出会った人の数、日常会話の時間（家族以外）、新しくできた友人の数、町内行事への参加の有無、これは何となくおでかけ定期券利用者にかかわらず一今の御答弁を聞いていますと、何かどこかのコンサルティング会社のプレゼンテーションの中身かなと錯覚するくらいのもので、どうもおでかけ定期券利用者を対象としてこういうものを調査して、そしてどのように生かすのかというようなことがちょっと不鮮明だと私は認識しています。

もう1回御答弁をお願いします。

中心市街地
活性化推進課長

調査結果の活用方法ということになりますけれども、公共交通の利用と外出機会や出会いに関する相関関係を把握いたしまして、持続可能な公共交通の実現に向けた検討材料としてということと、あとは地域に応じた高齢者の行動実態を把握しまして、利用が伸びない地域への施策検討や、外出目的に応じた必要な諸機能などの検討に活用することなどを考えております。

竹田委員 この調査はアンケート形式でやるのですか。

中心市街地
活性化推進課長 任意抽出いたしましてアンケートをお送りする
ような形で考えております。

竹田委員 いずれにしても、今、中心市街地活性化推進
課長がおっしゃったとおりの狙いがあるとな
らば、詳細に詰めて、バラ色のような、もう
ちょっと具体的にしっかりした成果が出るよ
うに調査を行っていただきたいと思います。

活力都市創造部長 竹田委員の御質問に補足させていただきます
が、以前、本年6月議会でも、いわゆるおで
かけ定期券所有者と非所有者に対しまして、
歩数などと医療費の相関関係みたいなものを
調査した結果を報告させていただきました。
あらかじめ机上では医療費の低減効果という
ものを一定程度想定できたわけですが、
実際の生データとしても医療費の低減効果と
歩くこととの相関関係が1つのエビデンスと
してある程度導き出せたなというふうに思っ
ております。
今回の調査は、歩くことや外出することによ
って、人との出会いとか会話、新しい友人と
の接点とか、あるいは行事への参加などとい
ったことが、歩くことによる効果の1つとし

てどの程度あらかわすことができるかということを検証したいというのが目的でございます。

いろいろ調べてみますと、人との出会いが多い方や会話する機会が多い方は認知症の発症頻度が少ないというような大学の先生の論文もあるのですが、富山市としてはこれだけコンパクトなまちづくりを進めてきた中で、そうした視点からの調査というものはこれまでやってきたことはありませんでした。金額はわずか20万円ほどなのですが、金額は小さいけれども、これは1つの大事な結果になるのではないかなと。

その結果が出れば、歩くことの効果ということの1つの実績、エビデンスとして市民の方にお話しできるのではないかというふうに思っております。

それともう1つ、先般、都市計画審議会の会長をこの9月末で退任されます早稲田大学名誉教授の宮口先生は、先般の審議会の最後に退任の御挨拶で、富山市のコンパクトシティについていろいろと御評価いただいた中で、コンパクトシティの社会論的な意味というのは、人との出会いが増えることだと。これがコンパクトシティということの意味でもあるのだと。人との出会いが増えれば、いろいろ

なことが発展するというふうな評価をいただいたところもございまして、新しい動きが出てきて、それがどう波及していくかということにつながっていくということが一コンパクトシティ政策をやることによって、人との出会いがあって、それがいろいろな意味で波及していくのだというようなことを意味されているのだと思います。

そういったようなこともございましたので、今回、金額はわずかでございますので、補正予算に出さなくてもやろうと思えばできたのかもしれませんが、あえて補正予算に出させていただいたという次第でございます。

村上委員 確認ですけれども、議案説明資料7ページの富山駅北口地下広場整備の内装撤去というのは……

分科会長 契約案件は、後ほどの建設委員会でお願います。

岡部委員 議案説明資料4ページの南北接続前後の沿線住民の公共交通の利用実態の変化についての調査について少しお聞きしたいわけですが、これは調査期間がいつというのは明確になっていないのですが、いつごろ行われる

のですか。

路面電車推進課長

先ほど若干御説明させていただいたのですが、今回の調査は、全ての鉄軌道駅と運行頻度の高いバス路線のバス停を対象に調査をするものでありまして、その利用者に対してアンケート調査を行うものでございます。アンケート調査票を配布して、郵送で回収するというような計画でございます。

実質的な期間ということでもありますけれども、今回承認いただけましたら委託契約ということで、その次に交通事業者との調整を図りながら、実際のアンケート時期を定める必要がございます。

遅くとも年内には実施したいというふうに思っておりますが、最終的な検証結果につきましては年度末になるものというふうに考えています。

岡部委員

接続までそんなに日がない中で、接続前後の変化を見たいということですから、早目にやっていただくということが大事だろうというふうに思っています。

それで、この補正予算額の400万円というのは、接続後の分を含めての予算額なのか。

路面電車推進課長 今回の調査は、あくまでも現状の把握のためのものでございます。

岡部委員 では、接続前ということですね。
具体的な調査の方法について幾つか聞きたいのですけれども、先ほども説明はされまして、調査票の配布やヒアリングということになっていますが、いわゆる全ての駅、停留所、バス停で調査をするのかどうかお伺いします。

路面電車推進課長 基本的に全てで行いたいと考えています。ただし、どうしてもバス停、駅、停留所で圏域がかぶるような箇所もございますので、そういったところは極力重複を避けるという意味で、同一なものにしたいと思っています。

岡部委員 公共交通の利用は始発から終電まであったりするのですけれども、調査の時間帯はどのように考えているのですか。

路面電車推進課長 アンケートを利用者の方に直接配るということになります。駅、停留所は多く使っていたりするような箇所もあれば、利用者の数がそれほどでもない箇所もありますので、それは臨機応変にやっていきたいというふうに考えています。

ただ、統計ですから、当然その統計がある程度信頼できる数値であるためには、最低限の回収は必要になります。ある程度の回収ができない箇所については、今回、直接ヒアリングをしたいと思っているわけなのですが、それらについては現地で作業するということになると思います。

岡部委員

できればなるべく有効に使えるようなデータになるように、十分な精査をお願いしたいというふうに思っています。

あと、やはり公共交通の利便性を上げることも含めて、必ずしも駅周辺の方や利用者だけではなくて、駅までこれだけの距離だからなかなか行けないとか使えないというような調査も一般的にやられるべきではないかというふうに思います。そういうアンケートなども含めて検討をいただきたいという思いがあります。

路面電車推進課長

まさに今御指摘のとおり、今回のアンケート調査では、そもそも公共交通の利用者が一体こういったエリアに居住されていて、こういったアクセス手段をとられていて、どういう頻度でどんな目的かということが調査の項目に上がっております。まさに今御指摘された

ような内容は今回の調査対象になっています。

岡部委員 最後に、運行頻度の高いバス路線13路線ということなのですが、今具体的に示されなくてもいいので、できれば配付していただいて、この路線とこの路線をやるというのがわかれば一すぐ全部の13路線を言われてもなかなかメモできませんので、後ほどで結構ですから、いただきたいと思います。

分科会長 要望ですね。
ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 ないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。
これより、議案第118号の意見の表明を行います。
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。
以上で、建設分科会活力都市創造部所管分を終了いたします。

公園緑地課長 〔議案第118号中
ファミリーパーク事業について、
議案説明資料により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

岡部委員 ブールバールの関係で関連があるようなので、
あわせて聞きたいと思っています。
1つは、道路維持管理費の水景施設撤去であり
ますが、これは完全になくして、いわゆる
歩道にしてしまいたいというか、道路空間と
して広いままイベントなどで使えるような形
にしたいということなのかどうかお伺いしま
す。

道路管理課長 水景施設が3基あります。それを全て撤去し
た上で、アスファルト舗装で平らにすること
で、歩道空間を創出するというところでござい
ます。

岡部委員 現在、木がかなり生い茂って、1スパンに1
0本から12本ぐらいつつ2列に並んでいま
す。その木はそのままの形で、この後のイベ
ントなどの準備としてやっていくということ
ですか。

道路管理課長 ケヤキはそのとおりで、そのままにしておきます。

岡部委員 南北接続開業にあわせたイベントが企画されているというような話も書いてありますが、そのほかにいろいろなイベントもその広場を使ってされると思います。
この撤去工事を含めて、今の時期から始めて式典までに間に合うのかちょっと心配しているのです。

道路管理課長 予算の議決をいただきましたら、早急に工事を発注いたしまして、来年2月中旬をめぐりに工事を終えたいと考えております。
御指摘のように、来年3月には路面電車の南北接続イベントが実施される予定であり、多くの方々に道路空間を活用したイベントを楽しんでいただくためにも、遅滞なく工事を進めてまいりたいと考えております。

岡部委員 これは市道になると思うのですけれども、イベント以降の活用の中で、一般の人の活用はできるのですか。

道路管理課長 国からの通達によりますと、地域の活性化やにぎわい創出のための道路空間を活用した路

上イベントなどは、道路占用について弾力的な取扱いを行うこととなっております。

一定の要件を満たせば、道路管理者としても支援していくべきだということでありますので、道路上での実施は可能であると考えております。

岡部委員 当然、周辺のにぎわいのためにブルバールの活用は大変大事なのですが、具体的に道路空間の利活用をどのようにやっていこうと思っているのですか。これはどちらかということと道路計画事業費の関係になってくるのですけれども。

建設政策課長 具体的にどのように検討するのかということですが、まずはオーバード・ホール前からとやま自遊館前の親水広場などの区間の老朽化した既存施設の現状を把握しまして、現在の道路空間をどのように再整備すれば継続的なにぎわい創出につながるのかを空間デザインの観点から検討するとともに、道路空間を生かした活性化策についても同時に検討したいと考えております。

岡部委員 実は昨日もあそこを歩いてみたのですけれども、タイルがかなり剥がれていた部分もあり

まして、太平橋も今工事をしているという状況もあります。

本当はもっと早く、全体を開業イベントに間に合うようなペースでやっていただければ、さらに観光客の皆さんや市民の皆さんも気持ちよくできたのではないかなと、ちょっともったいないなというふうに思います。

あと、今後のことは、市だけで運営をしてやっていくということではなくて、民間の皆さんの意見も取り入れながら開発をしていくということも大事だろうというふうに思っていますが、その辺の検討についてはどうですか。

建設政策課長 今ほど委員御指摘のとおり、沿線には企業やホテル、放送局等がございます。当然にぎわい創出はそういう方々の御意見を伺いながら進めていくべきだと考えております。現在もいろいろな対話をしておりますので、今後も引き続き対話をしながら検討を深めていきたいと考えております。

岡部委員 最後になります。空間デザインということですから、具体的にはこれからだと思っておりますけれども、今の考えの中でどのような整備を考えておられるのか、お聞かせください。

建設政策課長 これからの検討結果にもよりますが、基本的には先ほど道路管理課長が申したとおり、現在のケヤキですとか石畳は残しながら、老朽化した施設の再整備とあわせて、今後必要となる設備等の整備をしていきたいと考えております。

岡部委員 わかりました。ケヤキの関係はまだほかにもいろいろと問題も発生している部分がありますので、その辺はきょうは言いませんけれども、ぜひまた引き続きそういう部分も含めて、鳥対策もよろしくお願いして終わりたいと思います。

尾上委員 ファミリーパーク費の熱帯鳥類保全施設についてお伺いいたします。
今回の議案にあります熱帯鳥類保全施設の建設ですけれども、基本計画と基本設計を行いますよということで700万円が計上されているわけですが、その内容についてお聞かせください。

公園緑地課長 基本計画については、来園者の誘導や施設の面積、構造、展示方法などについて検討するものでありまして、基本設計においては、基本計画で策定された事項をもとに、建物を建

築するための平面図などを作成するものでございます。

尾上委員 これは業務委託ということになっておりますけれども、その方法はどのようにして行いますか。

公園緑地課長 高度で専門的な知識や経験、創造性が求められるため、公募型のプロポーザル方式にて提案を募り、受注者を選定したいと考えております。

尾上委員 やはり多額の寄附をしていただいた方の思いもあると思いますので、ある程度市が主導してやるのだとは思いますが、寄附をいただいた方にも、できればこんな施設をつくりたいと思うというようなこともお話ししていただければいいかなというふうに思います。
建設工事のことで、正面入口を入れて左側の広場ですか、ここを設定された理由というのは何かあるのですか。

公園緑地課長 この近くには、フラミンゴやキリン、シマウマなどの外国産の動物の展示エリアがあることから、このエリアを世界の動物の展示エリアとして位置づけるために、この場所を候補

地として検討したいと考えております。

尾上委員

今、写真を見ると、芝生が敷いてあって、建物が周りに2つほどあって—それが何なのかは私も把握していないのですが—芝生を潰すことになると思うのですが—やはり家族連れでお弁当を持って来園される方々の食事をする場所、ほかにもたくさんあるというふうには思いますが、そのようなことも考慮しながら、より親しまれる鳥舎になるように期待しておりますので、よろしくお願ひしたいというふうに思います。

岡部委員

雪対策事業費のハンドガイド式除雪機械のところでは少しお聞かせいただきたいと思ひます。まず、県の追加内示による補助金制度の内容を教えてくださいませんか。

道路管理課長

この補助金制度につきましては、市町村が地域住民と連携して行う地域ぐるみ除排雪体制の整備に要するハンドガイド式除雪機械の購入費用などに対して、県から補助金を受けるものです。
県からの補助金といたしましては、240万円を限度に事業費の3分の1が交付されるものとなっております。

岡部委員

ちょっとシビアな話をしますけれども、1台の購入費として補正額が186万9,000円となっていますが、私が少し調べたところによると、ハンドガイド式で180万円というのはあまりないのです。今はこの半額ぐらいでも購入できるのではないかというふうに思いますが、そこら辺はどういう調査に基づいてこの金額で1台分ということになったのかというのをお聞かせください。

道路管理課長

委員御指摘のとおり、小型除雪機械というのはメーカーによってピンキリだというふうに思います。しかし、今回購入するものは、幅が1.1メートル、250馬力のガソリン仕様ということで、特注といたしますか、ハンドガイドにしては幅が広いものということで、ある程度選定できるメーカーが限られています。名前を出すとあれなのですけれども、フジイという業者だとか、あとは和同産業というような会社があるのですけれども、今回要望した額につきましては、その3社から参考見積りを取りまして、見積り額が低い業者が1社あったものですから、それを除いた2社のうちの安い見積り額を要求額としております。

ですので、安い機械はあるかもしれませんけ

れども、妥当な額というふうに考えております。

岡部委員

やはり貴重な税金を使うわけですから、しっかりと調査をして、金額はかなり安くなってきているというのが事実でありますので、できればもう一度しっかりと調べていただければと思います。

引き続きですけれども、昨年、市で保有しているハンドガイド式、それからリースしたハンドガイド式の機械、それぞれ何台ぐらい貸し出したのか、リースの分と市が所有している分の台数をそれぞれお聞かせください。

道路管理課長

昨年度、本市が保有及びリースしていたハンドガイド式除雪機械は、合わせまして185台でございます。

また、貸し出している団体につきましては、原則1団体1台ということですが、婦中地域や細入地域などにおいては、1団体につき2台ないし3台を貸している町内会がありますので、町内会に貸出ししている団体数としては176団体となっております。

岡部委員

私が聞いたのは、市で保有しているものとリースは何台ずつだったか、また新たに購入す

るといふことなので、保有台数が増えるのかどうかについてです。

道路管理課長 市が保有しているハンドガイド式の台数は39台です。

岡部委員 わかりました。
今度、新しい機械を購入することで、これが増えるといふことなのか、古いものはもう廃棄して同じ39台になるのか、そこはどうなのですか。

道路管理課長 今回、ハンドガイド式除雪機械を購入することによって台数が増えることになります。更新に充てるものではありません。

岡部委員 実は去年も借りているのですけれども、昨年1台盗難に遭ったといふことで、新聞にも出ましたし、家にも電話がかかってきて、どうしておられますかと、こんな感じでありました。直ちにチェーンのロックをして対応したわけですが、町内会ではどのような場所に保管されてどういう管理をしているかといふことを把握されているのかどうかお聞きしたいのです。

道路管理課長 こちらで確認しているものといたしましては、公民館の格納施設、屋根つきの納屋のようなところに保管してあるというのが主な格納場所だと確認しています。

岡部委員 盗難に遭ったものも、そういうところに格納してあったものですか。

道路管理課長 盗難に遭ったものにつきましては、奥まった公民館の脇にあります屋根つきの格納庫に置いてありました。

岡部委員 あともう一、二点ですけれども、市が保有するハンドガイド式のものがありますよね。それからリースをしているものもありますよね。町内会からの要望に全て応えられているのかどうかというところを—ここはだめだったかというところはあるのかどうかお聞かせください。

道路管理課長 今のところ、条件を満たしているところにつきましては全て貸し出しております。

岡部委員 ということは、条件を満たしていない部分があるということですか。

道路管理課長 条件を満たしていないものがあるかといいますと、今のところ、実情ではないです。

岡部委員 最後になりますが、市が所有しているハンドガイド式除雪機械は、耐用年数を決めているのですか。

道路管理課長 本市が所有するハンドガイド式の耐用年数でございませけれども、4年間から33年間使用しているものと、さまざまあるのですけれども、平均的な耐用年数につきましては概ね30年程度というふうに考えております。

村上委員 先ほどの価格でありますけれども、数十万円のものもあるのは当然です。それは自宅の庭先を除雪したり駐車場を除雪するのとは全然規模が違うのだと思いますよ。

町内会として除雪するにはそれなりのものが要ると。その仕様を検討したら180万円ぐらいは必要だというような説明がなければ私は賛成できないので、そのあたりをちゃんと説明されたほうが私はいいと思います。そういうことでしょう。

道路管理課長 村上委員が言われたとおり、富山市が出している仕様書に基づいて参考見積りをとったと

ころ、百八十……

〔「わかったちゃ」と発言する者あり〕

分科会長 ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

これより、議案第118号中、建設部所管分の意見の表明を行います。

意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。

以上で、建設部所管分を終了いたします。

これで、9月定例会の当分科会に送付されました全議案の審査は終了いたしました。

委員各位に御相談申し上げます。

分科会長報告につきましては、正・副分科会長に御一任いただきたいと思います。いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 それでは、そのように取り計らいます。
 これをもって、令和元年9月定例会の予算決
 算委員会建設分科会を閉会いたします。

令和元年9月定例会
予算決算委員会建設分科会記録署名

分科会長 押 田 大 祐

署名委員 岡 部 享

署名委員 竹 田 勝